

北海道胆振東部地震

厚真町で震度7⇒全道で停電

9月6日午前3時8分に、厚真町を震源地とする「北海道胆振東部地震」が発生しました。最大震度は厚真町が7など道内全域で大きな揺れを引き起こし、北電の苫東厚真発電所が損壊するなど連鎖的に送電が止まり、北海道全域が停電（ブラックアウト）となりました。

被害は厚真町・安平町・むかわ町をはじめ全道に及び、死者41人、建物の損壊は1,500棟以上などとなっています。札幌でも液状化による住宅・道路の被害がありました。また、長時間にわたって停電が続いたため、農業・漁業・商業関係などで2次被害が発生しています。

建交労の組合員では、安平町の町営住宅に住む鉄道本部の組合員1人が避難所生活を送っています。これまでに道本部に寄せられた報告では、組合員の人的被害（ケガなど）や建物の被害はないようですが、引き続き情報をお寄せください。

沖縄県知事選挙

玉城デニーさん必勝を

9月13日、沖縄県知事選挙が告示され、翁長前知事の遺志を継いで辺野古新基地建設に反対し自立型経済で沖縄の新しい未来をつくる「オール沖縄」の候補・玉城デニーさんが第一声をあげました。政権丸抱えで争点そらしの選挙戦をたくらむ相手候補に絶対に負ける訳にいかない、沖縄だけでなく日本の未来がかかった選挙で、玉城デニー候補を必ず勝利させましょう。道本部は、激しい選挙戦をたたかう沖縄県本部にカンパを送りました。投票は9月30日です。

全国鉄道本部大会で北海道のとりくみを報告

9月15～16日に全国鉄道本部の大会が開かれ、北海道鉄道本部から竹田委員長をはじめ4人が参加しました。大会では、6日未明に発生した胆振東部地震の際に、全国の仲間から届いたお見舞いの電話やメールへのお礼と被害状況を伝えるとともに、職場の仲間との交流やエルダースタッフの労働条件改善、春闘アンケートのとりくみと関連会社の労働者からの相談、無期雇用転換と処遇改善・福利厚生の前進から組織強化をめざすとりくみなど北海道鉄道本部のとりくみを報告しました。また、北海道交運共闘に参加して北海道との意見交換をはじめ運輸局や労働局への要請行動で交通運輸産業にかかわる労働者の課題をともにとりくむことで学ぶことが多く、交渉窓口として大きな役割を果たしていることを述べ、北の鉄道をまもるために各地域での運動に参加している報告をおこないました。

自然災害からの復旧や55歳以降の賃金支給率と60歳定年後の再雇用者の賃金・一時金にJR会社間で大きな開きがあり、分割民営化から30年が過ぎて「勝ち組」と「負け組」が労働者のみならず利用する国民に不利益を被らせている実態が明らかになっています。18春闘で貨物会社の仲間がストライキで決起し、ベースアップが実現しました。春闘アンケートには多くの他労組組合員が協力するなど職場に大きな変化が現れており、建交労に加入した青年労働者も参加する貨物会社でのたたかいは全国の仲間にも激励を与えるものでした。新年度役員は、相木委員長をはじめ三役が再選されました。